【論点】

デューイの思想をあてはめた場合現代の日本の中学校教育は、どのように評価できるだろうか。

①自然科学的な学問について

・Outside of school pupils meet with natural facts and principles in connection with various modes of human action. …… To start them in school with a rupture …… breaks the continuity of mental development, makes the student feel an indescribable unreality in his studies, and deprives him of the normal motive for interest in them.（p.274, l.37~p.275, l.6）

：生徒たちは学校外において、人間の行動の様々な様式との関連の中で自然の事実や原理に向き合っている。学校教育においてその密接なつながりを絶つことは、精神発達の連続性を破壊し学習における非現実性をもたらすとともに、学習への興味に対する正常な動機を奪うことになる。

・The obvious pedagogical starting point of scientific instruction is …… to utilize the familiar occupations and appliances to direct observation and experiment, until pupils have arrived at a knowledge of some fundamental principles by understanding them in their familiar practical workings.（p.276, l.14~20）

：生徒たちになじみのある実際的作業の中で基本的原理を理解することでそれを認識するまで、よく知っている仕事や仕掛けを使用して実験や観察を指導することが、自然科学の教授の出発点である。

②人文学的な学問について

・Knowledge about man, information as to his past, familiarity with his documented records of literature, may be as technical a possession as the accumulation of physical details.（p.276, l.37~）

：人間に関する知識、過去についての情報、文献への精通は、自然の詳細な記述の蓄積と同様に専門的知識である。（文学作品の年代学についての事実の集積≒実験室の操作を上手にやる能力の習得）

・Unless such activity reacts to enlarge the imaginative vision of life, …… . It has the letter without the spirit of activity.（p.277, l.4~6）

（自然科学的学問と同様に専門的知識でありつつ、その根底に人間的、社会的関心という意識がある人文学的学問だが）もし（すでに獲得したものを保存するだけで）生活に関する想像力を伸ばすような効果を現わさないなら、その活動は精神を備えていない。

　　　↓

・Pedagogically, …… . For the latter procedure institutes an artificial separation in the pupil’s experience. （p.274, l.36）

：自然科学を単なる専門的情報の集まりと専門的な物理的操作の方式として、そして人文学的学科を孤立的教科として、それぞれ教える教授法は、子どもの経験に人為的な分裂をもたらす。

・With respect then to both humanistic and naturalistic studies, education should take its departure from close interdependence. It should aim …… at cross-fertilizing both the natural sciences and the various human disciplines such as history, literature, economics, and politics. （p.274, l.26~32）

：教育において、自然科学的な学科と人文学的な諸学科とは相互依存的な関係であるべきである。

・The important thing is that the fact be grasped in its social connections―its function in life.（p.276, l.32）

：事実は社会的関連つまり生活のなかでの機能において理解されるべき。

⇒以上のようにデューイは、自然科学的学問と人文学的学問が社会的関連をもって、相互依存的に教えられる状態をあるべき姿としている。

現代の中学校における教育について考えてみた場合、デューイが理想とする教育は実践されているのだろうか？

デューイの理想が実現されている、あるいは理想と異なっているのはどのような点だろうか？

　Ex．教授法、教科の編成